

小児がん診療施設 情報公開

医療機関名	埼玉県立小児医療センター
住所	埼玉県さいたま市中央区新都心1-2
施設ホームページ	https://www.pref.saitama.lg.jp/scm-c/
<<患者相談窓口>>	
名称	地域連携・相談支援センター
電話	048-601-2200(代表)
FAX	048-601-2237(直通)
メールアドレス	なし
対応可能時間	月曜日～金曜日 8時30分～17時15分
<<医療機関相談窓口>>	
名称	同上
電話	
FAX	
メールアドレス	
対応可能時間	

施設の特徴(アピール)

当センターは造血器腫瘍については日本一、固形腫瘍においても日本有数の小児がん診療実績を有しています。再発・難治例についても他施設から積極的に受け入れています。特に多施設共同小児がん臨床試験に力を注いでおり、登録数は日本一です。小児病院であり関係各部門との連携が非常にスムーズであることから、小児がん診療の要ともいえる集学的治療を日々効率的に実践し優れた治療成績を達成しています。人材育成にも力を入れ、多数の小児がん領域の専門医を輩出しています。平成28年12月末にさいたま新都心へと移転し、関東近郊からの交通利便性が向上。無菌室を増床し、より多くの造血幹細胞移植に対応可能となりました。最近では最先端の医療であるがんゲノム医療やCART療法、新しい薬を開発する治験などにも力をいれ、国内有数の実績を上げています。また、併設の特別支援学校協力のもと、小中学生への教育支援はもろんのこと、高校生に対する学習支援にも力を入れており、県立高校の生徒には正式な高校の教員免許を持った教員による訪問教育が可能になり、留年の回避、進学等の面で大きく前進しました。また妊孕性温存にも力を入れており、必要な患者には全て選択肢を提示するようにしており、実際に多くの患者さんがに要請温存治療を受けています。

診療受け入れ容量

小児がん病床(対応可能数)	50
集中治療床(うちPICU、HCU)	PICU 14床、HCU20床
外来化学療法(◎実績あり、○可能)	◎
休日・夜間救急対応(◎院外患者対応可能(条件記載)、○院内患者のみ対応可能)	◎
フォローアップ外来(◎フォローアップ専門外来、○そのほかの外来)(外来日)	◎ 月曜午後、これ以外に移植患者対象に火曜午前午後、金曜午前
小児がんセカンドオピニオン対応可能診療科	血液腫瘍科 小児外科 脳神経外科 病理診断科

診療実績(初発・再発別) (再発例は再発で紹介された症例のみ)	2023			2022			2021		
	初発	再発	合計	初発	再発	合計	初発	再発	合計
造血器腫瘍	46	1~3	49	61	1~3	63	51	1~3	52
急性リンパ性白血病	19	1~3	21	20	1~3	21	22	1~3	23
急性骨髄性白血病	7~9	1~3	7~9	11	1~3	12	4~6	0	4~6
まれな白血病	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	0	0	0
MDS/MPDのうちCML	0	0	0	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
MDS/MPDのうちCMLを除く	1~3	0	1~3	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
非ホジキンリンパ腫	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
ホジキンリンパ腫	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
その他のリンパ増殖性疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0
組織球症(HLH)	1~3	0	1~3	0	0	0	1~3	0	1~3
組織球症(LCH)	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6	7~9	0	7~9
その他の組織球症	0	0	0	1~3	0	1~3	0	0	0
その他の造血器腫瘍	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Down症TAM登録	4~6	0	4~6	7~9	0	7~9	4~6	0	4~6
固形腫瘍	44	1~3	45	42	0	42	49	0	49
神経芽腫瘍群	4~6	1~3	4~6	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6
網膜芽腫	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
腎腫瘍	0	0	0	0	0	0	4~6	0	4~6
肝腫瘍	1~3	0	1~3	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6
骨腫瘍	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3
軟部腫瘍	4~6	0	4~6	1~3	0	1~3	1~3	0	1~3
胚細胞腫瘍(脳・脊髄病変以外)	1~3	0	1~3	4~6	0	4~6	4~6	0	4~6
脳脊髄腫瘍	21	0	21	20	0	20	22	0	22
その他の固形腫瘍	1~3	0	1~3	0	0	0	0	0	0
その他の固形腫瘍(具体名)	膀胱腫瘍、大腸がん								

※再発症例は、対象年において他施設から紹介された再発がんの症例です(自施設での再発症例は含みません)。

診療実績(入院数)	2023	2022	2021	2020	2019	2018
小児がん入院患者延べ数	1,511	1,500	1,479	1,374	1,064	1,079
小児がん入院患者在院延べ日数	24,311	20,837	21,015	22,031	16,833	16,760
全入院患者延べ数(施設全体)	8,064	7,703	7,540	6,377	7,604	7,451
全入院患者入院在院延べ日数(施設全体)	96,093	93,497	92,536	84,483	90,461	93,628

診療実績(造血幹細胞移植)	2023	2022	2021	2020	2019	2018
同種造血細胞移植	27	13	22	16	18	12
同胞間造血細胞移植	2	1	4	2	5	3
家族間ハプロ造血細胞移植※	4	1	8	3	2	0
非血縁造血細胞移植	8	7	2	6	3	2
臍帯血移植	13	4	8	5	8	7
自家造血細胞移植	7	12	20	11	7	8
合計	34	25	42	27	25	20

※HLA完全一致または一座不一致の親子間移植も含まれます

死亡患者数	2023	2022	2021	2020	2019	2018
血液腫瘍	2	5	4	5	5	1
固形腫瘍	5	4	7	2	3	0
脳・脊髄腫瘍	9	4	7	1	5	2
合計	16	13	18	8	13	3

集学的治療実施体制(10例/年以上:◎、可能:○)	化学療法	手術	放射線
固形腫瘍(下記以外)	◎	◎	◎
脳腫瘍	◎	◎	◎
眼・眼窩腫瘍	○	○	○
骨・軟部腫瘍	◎	○	○

療養環境・支援	
面会時間	24時間可能
面会可能者	両親・同胞(中学生以上)・祖父母
集中治療室面会時間	24時間可能
面会可能者	両親・同胞(中学生以上)・祖父母
付き添い(○不要、◎希望で24時間可能、□24時間必要、△夜間必要、▽その他(具体的に記載))	○
入院可能年齢	原則として20歳未満。症例により個別対応

相談窓口	○
患者家族宿泊施設(◎敷地内、○近隣)	◎
代表的施設名	ドナルド・マクドナルド・ハウス さいたま
患者同胞短時間預かり施設(◎院内、○近隣)	◎
患者家族休憩室(◎予約不要、○予約要)	◎
院内患者家族会(名称、連絡先)	びすけっと 代表柳戸様(049-271-4708)

院内学級(◎:分教室、○:訪問教育)	◎
通院患者の通学(○可能)	
ベッドサイドでの授業(○可能)	○
高校生への教育支援体制(◎:分教室、○:訪問教育)	○
通院患者の通学(○可能)	○
ベッドサイドでの授業(○可能)	○
就学前児童保育	○

診療機能	
病理組織診断	○
放射線治療	○
臓器移植(対象臓器)	○ 肝臓
一般社団法人日本造血細胞移植学会非血縁者間造血幹細胞移植を施行する診療科の認定基準(診療科)	カテゴリー1 血液・腫瘍科
臍帯血移植認定施設	○
輸血・細胞療法センター	
集中治療部(◎小児専門もあり、○あり)	◎
長期フォローアップ(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	◎ 初診は25歳まで。最大フォロー可能年齢は30歳
移行医療(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	○
緩和ケア(院外患者対応可:◎(条件記載)、院内患者のみ:○)	○
思春期・青年期がん診療(高校生以上)(◎実績あり、○可能)(対応可能年齢)(特色)	◎ 25歳まで 高校生への教育支援実施

専門資格保持者(小児がん診療に実際に携わる人員)		
小児血液・がん専門医	○	緩和ケア認定看護師
小児血液・がん指導医	○	がん性疼痛看護認定看護師
小児がん認定外科医		がん放射線療法看護認定看護師
小児外科専門医	○	摂食・嚥下障害看護認定看護師
小児外科指導医	○	皮膚・排泄ケア認定看護師
小児科専門医	○	日本小児がん看護学会 小児がん看護師
小児神経専門医	○	日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師
脳神経外科専門医	○	日本医療薬学会 がん専門薬剤師
病理専門医	○	日本臨床細胞学会 細胞検査士
日本臨床細胞学会 細胞診専門医	○	日本医学放射線学会 医学物理士
血液専門医	○	日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師
がん薬物療法専門医		公認心理師
がん治療認定医機構 がん治療認定医	○	日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士
放射線科専門医		日本病態栄養学会/日本栄養士会 がん病態栄養専門管理栄養士
日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会 放射線治療専門医		日本人類遺伝学会/日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー
日本医学放射線学会 放射線診断専門医	○	日本遺伝性腫瘍学会 家族性腫瘍カウンセラー
緩和医療専門医		チャイルドライフスペシャリスト
緩和医療認定医		ホスピタルプレースペシャリスト
がん看護専門看護師		子ども療養支援士
小児看護専門看護師	○	保育士
地域看護専門看護師		社会福祉士/精神保健福祉士
がん薬物療法看護認定看護師	○	

臨床研究(小児がん診療に関する試験数)		
臨床研究支援センター	○	←別表にご入力ください
参加臨床試験数(治験を除く)	23	
治験実施(有○)	○	
治験実施内容	●小児・AYA世代に好発する悪性腫瘍に対するシスプラチン投与による内耳毒性を軽減するチオ硫酸ナトリウムの第Ⅱ相試験、●慢性移植片対宿主病を発症した小児患者を対象としたINC424の第Ⅱ相試験、●CTL019の第Ⅲb相試験、●造血幹細胞移植(HSCT)後に血栓性微小血管症(TMA)を呈する患者を対象としたラブリズマブの第Ⅲ相試験	